

蒸気漏洩削減による省エネで「平成21年度省エネ大賞 資源・エネルギー庁長官賞」を受賞
～7事業所合計で年間46千トンのCO2排出量削減を達成～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)のグループ会社である新日本石油精製株式会社(社長:大野 博、以下「新日精」という)と株式会社テイエルブイ(社長:藤原 良康、本社:兵庫県加古川市、以下「TLV」という)は、共同で「10万台のスチームトラップからの蒸気漏洩削減」事例について、「平成21年度省エネ大賞(組織部門)※1」の「資源・エネルギー庁長官賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。

「省エネ大賞」は、経済産業省資源エネルギー庁および財団法人省エネルギーセンターの主催で行われ、国内の産業部門に属する企業、工場、事業所等の省エネルギーの推進に貢献した事業者等を表彰することを通して、さらなる省エネルギー意識の浸透を図るとともに、省エネルギー産業の発展および省エネルギー型社会の構築に寄与することを目的とする賞です。

スチームトラップとは、製油所の配管やタンクの加熱などに利用した蒸気(スチーム)を水として排出する際、蒸気漏洩を防止しつつ、効率的に排出する機器です。新日精では、従来より、蒸気漏洩によるエネルギー損失の削減に向け、スチームトラップの保守管理に取り組んできましたが、各所担当者のスキルに頼っており適正な機能診断基準がなかったことと、全国の7製油所・製造所※2で約10万台という膨大な設置数が大きな壁でした。

そのため、スチームトラップメーカーであるTLVと共同で、各事業所のスチームトラップを、毎年、網羅的かつ高精度に診断し、診断結果をデータベース化するとともに、データベース分析に基づいて補修するという、能率的で継続できる保守管理の「しゅくみ」を構築しました。

新日精の7製油所・製造所の広大な敷地内(敷地合計約840万㎡=東京ドーム180個分)に散在する約10万台のスチームトラップを対象に、この「しゅくみ」を展開した結果、原油換算で年間約1.8万KLの省エネ、CO2排出量としては年間46千トンの削減を達成しました。

蒸気は他産業の工場やビルでも暖房用などに使用されており、国内外に多数存在するスチームトラップへの適用を拡大することによって、地球規模の省エネ効果が期待されます。

当社グループは、「Environmental harmony(地球環境との調和)」の経営理念のもと、今後も、地球環境保全に寄与する技術開発に挑戦し続けることで、人々から最も支持される総合エネルギー企業を目指して参ります。

※1:組織部門以外に、人材部門と機器・システム部門がある。

※2:大分製油所と川崎製造所を除く、室蘭・仙台・根岸・大阪・水島・麻里布製油所と横浜製造所。

以上